正しく表示されない場合は、ブラウザで表示させてください。

ICRC

赤十字国際委員会 ニュースレター

7月号 2021



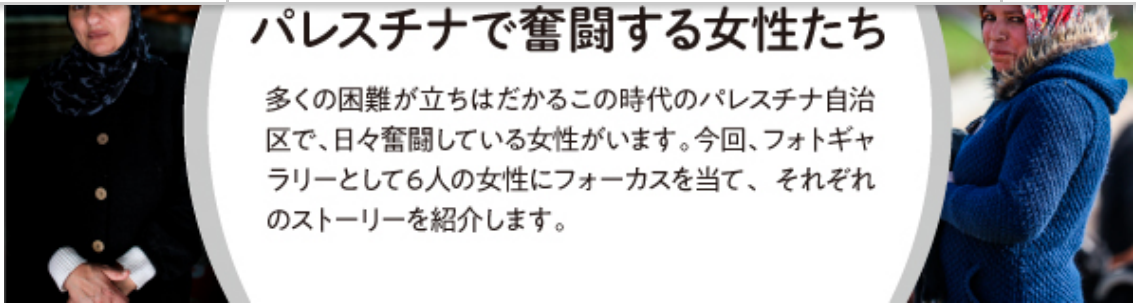
ICRCデレゲート(国際職員)を募集中

赤十字国際委員会(ICRC)では、紛争地で命と尊厳を守るデレゲート(海外に赴任する国際要員)の募集を大々的に行っています。締め切りは2021年７月31日(土)です。

ICRC職員は人道主義を掲げて、中立、独立、公平の理念のもと主に紛争地で活動しています。精神的・肉体的にタフさが求められる職務ではありますが、戦争や紛争で疲弊した人々に希望と安心を与え、生きる力を支える――。それがICRCの仕事の魅力です。

詳しくはこちら

紛争の現場から





新型コロナウイルス専用病棟の看護師として働くアヤさん。、パンデミックのピーク時には、妊娠６カ月でした。母と妹に支えられ、夜勤もこなします。



コロナ専用病棟で働くことで、自分自身、家族、そして子どもの健康が危険にさらされる可能性があります。それを承知で、感染患者の命を救うために最前線で働くことを決意しました。



昼間は教育アドバイザー、夜は学生、そして５人の子どもを持つ母親、ナンシーさん。博士号取得を目指しています。



コロナ禍とはいえ、彼女はフルタイムの仕事で家族の生活を支えるかたわら、勉学に励みました。仕事、勉強、母親業の全てに余念がありません。



アムさんは、飲食業を営んでいます。コロナ禍で収入が70%減少し、事業をたたんで、今では自宅の台所でケータリング用の料理を作っています。



女性にとっても経済的自立が優先事項と考える友人のソウマヤさんは、ケータリングサービスの宣伝担当。心強いサポーターと共に困難を乗り越えようと邁進しています。

[４人目以降はこちら]

世界のトレンド



ベネズエラ移民の支援を強化

ラテンアメリカ・カリブ海諸国などの中南米諸国で暮らす、難民を含むベネズエラ移民のニーズは未だ満たされていません。こうした状況に対応し、国際赤十字・赤新月運動は、今後３年にわたって、中南米17カ国で暮らすベネズエラ人、およびその受け入れ先のコミュニティーに保護と支援を提供するための対応を強化していきます。

[詳しくはこちら]



文化財・文化遺産に対する攻撃

近年、国際的に看過できない問題として、文化財・文化遺産に対する意図的な攻撃の増加があります。地域の歴史や文化の象徴でもあり、個人にとっても心の拠り所となり得る遺産への攻撃はあってはなりません。私たちは「文化」をどう保護することができるのか。国際的な条約の発展と共に紐解きます。

詳しくはこちら

日本人に知ってもらいたい！



NECの技術をICRCの現場に

日本電気株式会社(NEC)とICRCが覚書を締結し、日本の技術を活用して紛争地の人道問題を軽減／解決するためのプロジェクトが始まりました！「我々のプロジェクトがモデルケースとなり、日本の技術が世界の人々を助けるために貢献できるということを広く知ってもらう機会になれば」(NEC)「テクノロジーやビジネス、人道の分野で連携して、多くの知恵を結集させ、新しいソリューションを生み出したい」(ICRC)

詳しくはこちら

駐日代表部だより



IHL模擬裁判準優勝の東京大学チームに聞く

国際人道法(IHL)模擬裁判のアジア・大洋州大会で準優勝した東京大学チーム。大会に出場したきっかけ、練習内容、大変だったこと、参加を検討している方へのアドバイスなどを聞きました。

インタビューはこちら

その他のニュースはこちら

© 2021 INTERNATIONAL COMMITTEE OF THE RED CROSS

配信停止をご希望の方は、お手数ですがこちらよりお手続きください。
ICRC駐日代表部のプライバシーポリシーはこちらでご確認できます。

INTUIT mailchimp